

シャローム shalom

No.171

2024.夏号

ヘブライ語で「平和」「平安」を意味する言葉。日常の挨拶「こんにちは」や「さようなら」として用いられており、神さまの守りと恵みによってすべての人に訪れるシャロームを皆さんに、という願いで医療団発行紙は「シャローム」と名付けられています。



災害時の糖尿病医療支援チーム (DiaMAT) 活動

さとう かずお
薬剤部 佐藤 和生

2024年1月1日に能登半島地震がありました。その被災者の生命・健康を守るため、数多くの災害時医療派遣チームが現地入りしました。そして今回より糖尿病医療支援チーム（略称：DiaMAT）も現地入りして活動しています。派遣された京都メンバーは指名を受けた医師、看護師、管理栄養士、薬剤師の4名で構成されています。災害時の糖尿病患者さんには災害発生時から慢性期まで長期間の支援が必要であり、時期によって必要な支援の内容が異なります。糖尿病医療支援チームは、そのニーズにあった支援の提供を目指しています。

その糖尿病医療支援チームの一員として日本バプテスト病院の薬剤師が石川県輪島市に2月23-25日の3日

間派遣されました。現地入りは震災から2か月近く経過していましたが、地震の爪痕は凄まじいものでした。こうも簡単に家屋が崩れるのか、道路がひび割れするのかと感じました。活動は主に避難所を回り支援を行っていました。

災害はいつどこで発生するのかわかりません。そのため平時の災害への備えや防災教育も大切となります。当院では院内の取り組みとして、非常食の備蓄や自家発電機の設置をしています。そして患者さん向けの取り組みとして、糖尿病教室で糖尿病管理に関する防災教育を行っています。様々なことで地域の皆さまの頼りになれるよう努めていきたいと思います。

News

尼川理事長・病院長の取材記事が
書籍・新聞などさまざまな媒体に
掲載されました。

明日の医療を支える信頼のドクター2024年度版



毎日新聞 3月15日(金) 朝刊(京都・大阪版)



Hello! Doctor 125号



Relay Column バプテスト老健リレーコラム

vol.17 サービスの利用について

おおえ じゅんいち
社会福祉士 大江 潤一



入所（1～3 ヶ月程度の入所）やショートステイ（短期間の入所）サービスのご利用について、説明します。

入所サービスの利用は、要介護1以上の介護認定を受けた方が対象です。

身体機能や認知機能が低下するなどして自宅での生活が難しくなった方や、入院されたのち、自宅生活の再開が難しい方などが、リハビリテーションにより、自宅生活に復帰を目的に、ご利用いただけます。

ショートステイサービスの利用は、要支援1以上の介護認定を受けた方が対象です。

ご利用者のリハビリテーションや自宅で介護されている介護者の介護負担軽減などを目的に、日程を決めて、ご利用いただく事となります。

ご本人、ご家族からの直接のご利用連絡ではなく、入院中は、病棟のソーシャルワーカーや退院支援看護師に、在宅生活中は、担当のケアマネジャーに相談のうえ、お話をいただきます。

当施設は、在宅復帰超強化型老健として、特に在宅復帰を目指すご利用者を優先的に、サービス提供します。

利用まで、書類判定⇒面談⇒判定会議⇒日程調整の流れになります。

在宅生活に不安のある方の住宅環境整備へのご助言なども対応します。ぜひ、ご利用ください。

薬でつながるちょっといい話 vol.44 坐剤の使用方法について

ふくだ まゆみ
薬剤部 福田 真弓

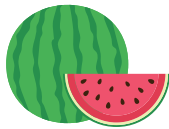


今回は、坐剤の使用方法についていくつかポイントをご紹介します。私も含め、坐剤に少し抵抗感をお持ちの方がおられるのではないのでしょうか。そのような印象を持たれるお薬ですが、坐剤は直腸から直接吸収されることにより効果が早く現れ、経口投与が困難な方にも適した剤形なのです。

使用する際のポイントとして、

- ① 坐剤が挿入しにくい場合は、先を水で濡らしたり、ベビーオイルやオリーブ油などを少量付けて挿入すると滑りやすく、刺激が弱くなります。
- ② 冷蔵庫で保管していた坐剤は、取り出してすぐに挿入すると冷たさで痛みを感じたり、腸が刺激され便意を催すことがあります。そのため、すぐに使用する場合は手で少し温めておくといよいでしょう。
- ③ 坐剤を半分で使用する場合は、ナイフなどで斜めに切って、切った後はもともと先がとがっている上部の方を使用して下さい。
- ④ 2種類以上の坐剤を併用する場合は、使う順番によって有効成分の吸収に影響が出ることもありますので、医師または薬剤師の指示に従って使用して下さい。

お薬について疑問などがありましたら、お気軽に声をかけてください。



健康・栄養

第54回 ～猛暑の運動不足解消にLet's「宅トレ」～

作業療法士
しみず けんた
清水 健太



地域によっては、連日40℃近くまで気温が上がる暑い夏。外での運動では熱中症の危険性もあり、外出が億劫になり、つい運動不足になりがちです。夏は外気温が高いため、冬に比べて体温保持のためのエネルギー消費量が少なくなり、代謝が低下しやすいとされる要注意な季節です。運動不足でさらに代謝の低下が加速すると、血行不良や体力の低下を招くほか、夏バテなど様々な不調につながる恐れもあるのです。

今回は涼しい室内で安全に運動不足を解消できるメニューを3つ紹介します。1つずつでもできそうなトレーニングから取り組みましょう!!

ワイドスクワット

- ① 足を肩幅より広めに開き、つま先を外に向けて立ちます（両手は胸で交差するか、腰に当てます）
- ② 息を吐きながら、ゆっくり腰を下げます（四股を踏むようにできるだけ下げます）
- ③ 息を吸いながら、踵で床を押して①の姿勢に戻ります。

※10回×3セットを目安にくり返します



ポンプアップ

- ① 足を腰幅に開き、つま先は前に向けて立ちます（両手は腰を持ちます）
- ② 息を吸いながら、ゆっくりつま先立ちになります
- ③ 息を吐きながら、ゆっくり左右の踵を下ろします（反対側の足は膝を曲げます（左右の腰の高さがズレないように注意します））

※左右交互に15回×3セットを目安にくり返します



膝つきプランク

- ① 四つ這いの状態から肘と前腕を前につまみます
 - ② 足は腰幅に広げ両膝をつまみます
 - ③ 深呼吸しながら左右のつま先を浮かせます
- ※10～30秒維持します
（お尻が上がったり、腰が反らないように注意します）



聖書の小道

第61回 「魂の糧」

しかし、必要なことは

ただ一つだけである。

マリアは良い方を選んだ。

それを取り上げてはならない。

ルカによる福音書
10章42節

みやがわ ゆみこ
牧師・チャプレン 宮川 裕美子



スタッフの3歳の娘さんが讃美歌を歌い、主の祈りを祈る動画を見せてもらいました。全くよどみがありません。保育園で毎日聞いているうちに覚えたとのことで、「聞き続ける」ことの大切さを改めて思いました。

イエスを家に迎え入れたマルタという人がいました。もてなしのためにせわしく働いていましたが、妹のマリアがイエスの話に聞き入っていることに不満を爆発させました。それに対してイエスは「マリアは良い方を選んだ」と言われたのです。よく考えてみると、イエスを招いたのは話を聞くためだったはずで、いつの間にか本末転倒していたのでした。

時に信仰をもっていても、生きることの意味や価値を見失うことがあります。命は神様からいただいているものだからこそ、生きることそのものに意味があると頭では知っているにも関わらず。聖書は「神は避けどころ」、「苦難のとき必ずそこにいます」（詩編）、「試練と共に逃れる道をも備えてくださる」（1コリント）など、どんな時にも支えてくださる神様の存在を溢れんばかりに伝えます。魂が飢え渴いてしまうことがないように御言葉に聞き続けていきたいと思います。

お知らせ 銀閣寺シャトルバスについて

銀閣寺シャトルバスのご利用状況をふまえて、6月3日（月）より、運行時刻を始発・終発ともに20分繰り上げております。これにより病院玄関前『発』の運行時間帯が次の通り変更となります。

月～金 8:00～16:20
土曜日 8:00～12:40
(この間20分毎の運行)

運行間隔には変更ありません。詳しい時刻は、新しい時刻表をご確認ください。

イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、随時受け付けています。詳しくはおたずねください。

寄附の方法

寄附金は、直接、当医療団へお持ちいただくか、郵便振替での送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

郵便振替

記号番号 00960-4-282133
加入者名 一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団

お問い合わせ先

日本バプテスト連盟医療団 経理課
TEL 075-702-5926

献金・献品 感謝ご報告 (2024.2.1- 4.30) 敬称略

Altha Smith Satterwhite
日本キリスト教団京都南部地区
認定こども園紫野幼稚園
松本 亮壮 岩田 栄太郎 匿名の方

お知らせ 学術奨励賞 受賞のお知らせ

当院薬剤部林明子さんが京都府病院薬剤師会の学術奨励賞を受賞しました。

先日その表彰式がありました。

受賞した発表は

「外科・整形外科手術における内服再開忘れを防ぐための病棟薬剤師業務の取り組み」
第58回京都病院学会（2023年）より

です。

日々の業務を形にして発表した内容が京都府病院薬剤師会から評価されたことはとても喜ばしいことです。

これからも薬剤部一同、自信をもって業務に取り組んでいきたいと思います。



日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだ、こころ、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.171 2024年7月発行

発行／一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 発行人／代表理事 尼川 龍一 編集／日本バプテスト連盟医療団広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。
著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。

日本バプテスト病院 <https://www.jbh.or.jp/>

バプテスト老人保健施設 <https://www.jbh.or.jp/roken/>

バプテスト訪問看護ステーション しおん <https://www.jbh.or.jp/shion.html>

バプテスト居宅介護支援事業所 <https://www.jbh.or.jp/about/section/chiki/chiki-renkei/kyotaku.html>